

草書
行書

前後赤壁賦

趙孟頫
元時代・三三〇二年

教科書 20ページ
国立故宫博物院(台北)蔵

釈文

赤壁賦

壬戌之秋、七月既望、蘇子与客泛舟遊、于赤壁之下。清風徐來、水波不興。举酒属客、誦明月之詩、

(…)

書き下し文

赤壁賦

壬戌の秋、七月既望、蘇子客と舟を泛して、赤壁の下に遊ぶ。徐に清風来たり、水波興らず。酒を挙げて客に属し、明月の詩を誦し、

(…)

大意

赤壁賦

壬戌(一〇八二)の秋、七月十六日、私(蘇軾)は、客と舟を出して赤壁の下に遊んだ。清らかな風がおもむろに吹いてきて、水は波立つことがない。酒をとり客にすすめ、名月の詩を誦し、(…)

※既望(満月を過ぎた日、陰暦十六日)

